

環境マネジメント

関連するマテリアリティ
環境に配慮した経営

関連するSDGs



愛知時計電機は、環境理念「地球環境に配慮した企業活動に取り組み、環境と調和する製品と企業活動を通して社会に貢献します。」に則り、脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現を目指します。GHG（温室効果ガス）排出抑制のほか、生産活動における環境負荷物質の排出抑制や省エネ・省資源に努め、3R（リデュース・リユース・リサイクル）に配慮した製品設計を推進し、製品のライフサイクルにおけるすべての段階において、環境負荷低減を図ります。

環境負荷低減の取り組み

カーボンニュートラルへの取り組み

愛知時計電機は、地球温暖化対策に寄与すべく、2050年までの脱炭素社会の実現に向け、「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を掲げ、サプライチェーン全体で連携を取ってGHG排出抑制と、環境負荷の低減に取り組んでいます。その一環として、2022年4月より、本社および愛知県域の生産工場において、CO₂フリー電力^{*}の導入を開始しました。今後、CO₂排出量削減に向けて、省エネ施策の推進や太陽光発電設備の導入などを検討していきます。

^{*} 再生可能エネルギー由来の非化石証書を使用することで、電力使用によるCO₂排出量を実質ゼロにする料金プラン。

サプライチェーン排出抑制

愛知時計電機は、サプライチェーン（スコープ3）のGHG排出削減にも積極的に取り組んでいます。計測機器の製造事業において最も比率が高いカテゴリ1の原材料、部品調達について、製品開発機能を活かし、軽量化・小型化を図り、省エネ・省資源を実現します。

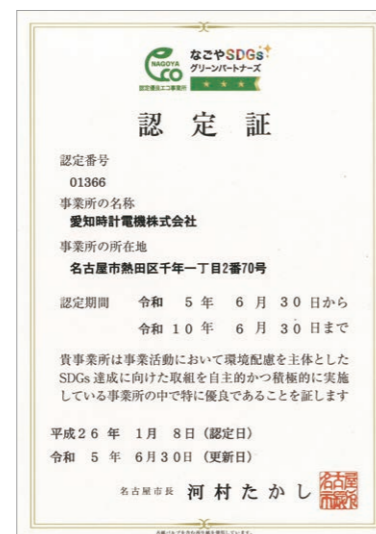
また、計測機能を活かし、ユーザーのエネルギー管理や設備故障などの未然防止にも貢献できる製品提供を推進します。

社外からの評価

愛知時計電機は、経済産業省が実施する「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」の定期報告における「事業者クラス分け評価制度」において、2018年度から4年連続で「省エネ優良事業所（Sクラス）」の評価を受けています。一方、名古屋市の「事業活動において特に環境に配慮したSDGsの取り組みを自主的、積極的に行っている事業所を登録・認定する制度（なごやSDGsグリーン



パートナーズ）」において、本社事業所がGHGの排出量削減等の取り組みおよび実績を評価いただき、「優良エコ事業所」としての認定を継続して受けています。



愛知時計電機の環境保全に関する取り組みの詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

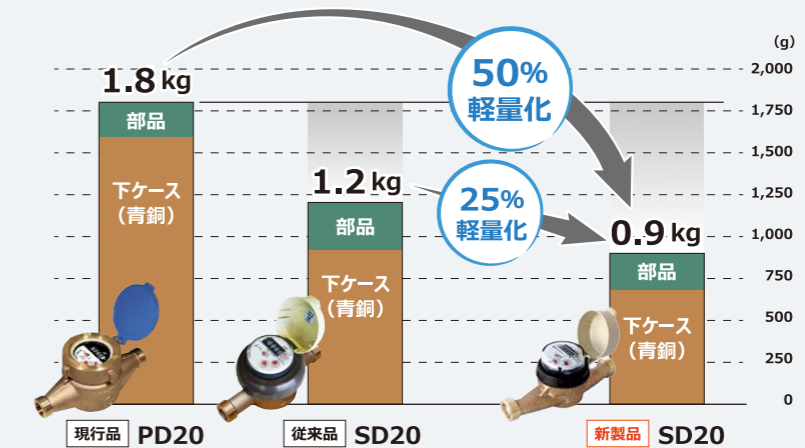
WEB <https://www.aichitokei.co.jp/company/environment/>

環境にやさしい製品づくり

水道メーターの軽量化・小型化

水道メーターは、法令により検定有効期限が8年と定められており、全国で毎年およそ750万台が交換されています。愛知時計電機では、「カーボンニュートラルチャレンジ2050」の一環として、基盤製品である水道メーターの軽量化・小型化を実現しています。現地式水道メーターSDシリーズは、現行比で50%、電子式水道メーターERシリーズは、45%の軽量化を実現しました。これによりスコープ3カテゴリ1の原材料節減とともに、カテゴリ4、9の運搬や施工の効率化に寄与しています。

現行品PD20、従来品SD20と新型SD20Sとの比較（当社比）



ガスメーターのリユース・リサイクル

小型都市ガスメーターは、検定有効期限が10年で、交換の際には廃棄するのではなく、従前より消耗部品の交換・再検定を行った上で再使用（リユース）しています。工業材料の技術革新や設計改良による高耐久性の実現により、リユース率89%、リサイクル率4%を達成し、廃棄物を7%まで抑制しています。この取り組みもスコープ3カテゴリ1のほか、カテゴリ12廃棄物抑制にも寄与していると言えます。

